

◆まちづくり地域優良事例集◆ 中央区まちづくりセンター

白川夜市



〈取り組みの内容〉

水辺の新しい可能性を創造するプロジェクト『ミズベリング』の一環として開催。水辺空間を有効活用することで地域活性化を目指す『白川「緑の区間」利活用推進協議会』を中心に、市民や企業、行政が一体となって取り組んでいます。2019年3月から毎月第4土曜日に白川河川敷「緑の区間」で開催。バラエティに富む飲食店や物販店が大集合します。

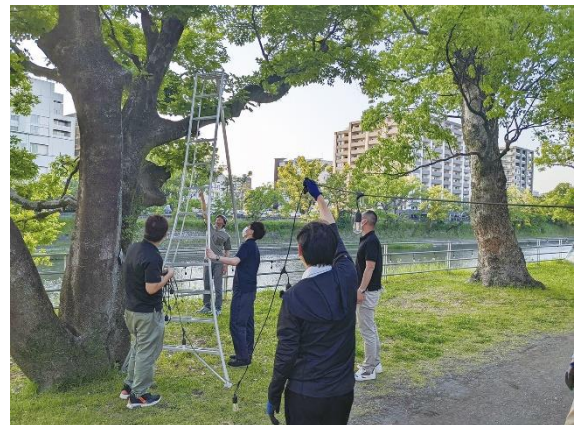
〈取り組みで大事にしていること〉

開催するには、地元の理解やサポートが必要です。会場近くに住む方々に嫌な思いをさせないようにするのはもちろん、ニーズにしっかり応え、喜んでいただけるような企画や、出店者をチョイスするように意識しています。ご家族での来場も多いので、子ども向けのコンテンツも欠かせません。

〈取り組みを始めようと思った経緯・きっかけ〉

“水辺で人々が交流する場を作りたい”

国土交通省のプロジェクト「ミズベリング」が始まったことで、全国的に水辺利用の機運が高まりました。熊本市でも、国交省と市が共同でマルシェを開催し、それに来店をしてみたら予想以上に反響がありました。にぎわいづくりのイベントは、継続してこそ意味があると思い、水辺に人々の交流の場を作るべく「白川夜市」を開催することになりました。



白川夜市の準備の様子

〈取り組みの意図〉

熊本は都市化されている部分もありますが、東京とかの大都会に比べれば、自分の頑張りだけで街に何らかの変化をもたらすことができる、つまり“まちづくりのハードルが低い”と思います。ちょっとした変化を加えるだけで大きく成長できる可能性に満ちていて、思い描くことを実現できる可能性が少しでもあるからこそ、情熱的に取り組むことができます。

〈今後の展望〉

これからも継続的に開催して、地域に根づいたイベントになっていけばと思っています。まちづくりに興味がある人、コミュニティづくりに貢献したい人が参加してくれるとうれしいです。

白川夜市は月一回の開催ですが、他の日には、野宿／キャンプ、バーベキュー、朝市、キッチンカーなど、河川敷を利用した新たなイベントを企画して、白川の水辺をもっと盛り上げていきたいですね。



白川夜市運営 Shirakawa Banks
代表 ジェイソン・モーガン さん